

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	教育委員会事務局 社会教育課	記 入 者 職 氏 名	社会教育課長 土屋 由利子 〔副課長兼施設・管理班長 木山 正規〕
--------------	----------------	----------------	--------------------------------------

1 事業の概要

事業名	人と自然の博物館 新収蔵庫の整備	総事業費 (概算)	2,000,000千円
		31年度当初 予算計上額	10,000千円

所在地	三田市弥生ヶ丘1丁目6
事業目的	開館以来、25年にわたり収集してきた標本・資料の収蔵スペースが不足し、適切な保管が困難な状態にあるため、収蔵品を適正に保管できる十分な容量を備えた収蔵庫を整備する。
事業内容	<p>1 整備年度 2019(平成31)年度～2022年度(4箇年事業)</p> <p>2 整備内容 (1)延床面積 約3000㎡(見込) 収蔵スペース：約2100㎡(収蔵可能年数：30年) 付帯設備：約900㎡ ＜収蔵関連施設＞ 荷解場、収蔵庫前室、標本製作室、冷凍庫室、燻蒸室、 仮保管庫、調査閲覧室、各種什器類 ＜施設利用設備＞ エントランス、搬入口、荷解場、エレベーター、廊下、 (非常)階段、消火設備、機械室、警備設備、空調機械室、 トイレ、清掃庫など (2)耐用年数：60年(鉄骨造2階建/長寿命化をめざす)</p>
事業スケジュール	<p>2019年 4月～ 設計</p> <p>2020年 10月 工事着工</p> <p>2022年 9月 工事完成(予定)</p> <p>10月 開館30周年</p>

2 基準に基づく評価

項目	説明
必要性	<p>開館以来 25 年にわたり収集してきた標本・資料の収蔵スペースが不足し、収蔵庫の容量をオーバー(約 130%)している。</p> <p>今のままでは適正な保管が困難であることに加え、標本・資料の新たな寄附を受け入れできない状況である。また、適正な保管ができないために標本・資料の有効活用が困難であり、その利用を促進するためには収蔵庫を増設する必要がある。</p>
有効性・効率性	<p>開館以来収集してきた貴重な標本・資料を、県民の財産として永続的に保管・活用</p> <p>貴重な標本の保存、継承を行うため標本の保存に最適な状態を維持し、高いセキュリティで保護された空間が整備されるため、収集された標本・資料は、いつでも学術的に利用できる状態で保管される。</p>
環境適合性	<p>建築部材等において可能な限り省エネ化を図ることで環境に配慮するとともに、施設の維持管理に要するエネルギー使用料の抑制・効率化を図る。</p> <p>(1) 照明に LED 灯や人感センサーを導入 (2) 効率的な空調設備の導入 (3) 断熱性の高い壁の使用 等</p>
優先性	<p>現収蔵庫の収蔵率が 130%超であり、一部は庫外に仮置きされ、適正な保存と活用に支障があり、早急に適正な収蔵スペースが必要である。また、収蔵率がオーバーしているため新たな寄贈受入が困難な状況であり、県内の貴重な資料が散逸する恐れもある。</p>

3 審査会意見

審査会意見	
-------	--